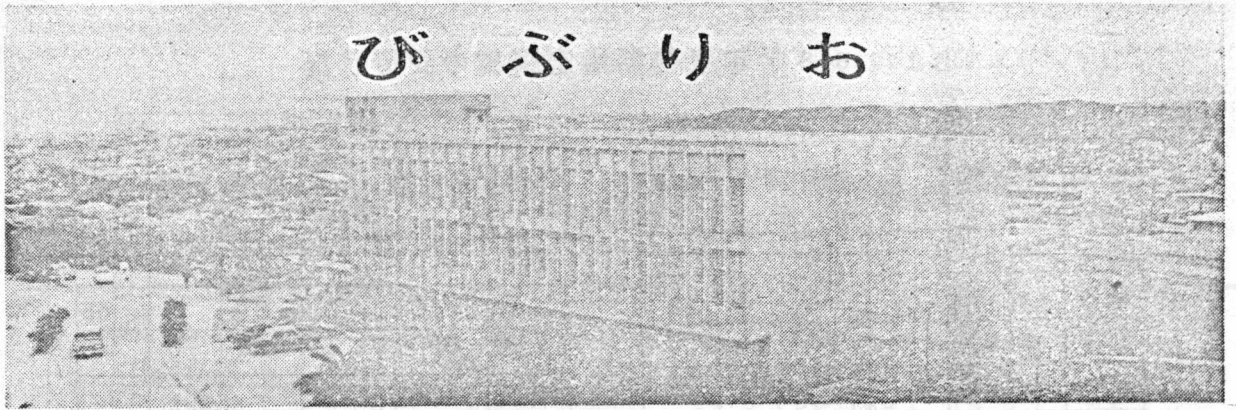


お り ぶ り



VOL. 2 No. 5 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1968.11.15
(通号No. 7)

紙 り と 究 研

東 正 川 亀

あたらしく大学を創設する場合、大学設置基準によつて図書館の蔵書は何万冊をこえなければならないという規程があつて、それに該当しなければ文部省の認可はなかなかおりないようである。

そのため設立関係者たちは図書の購入に多額の金を投ずるが、それがまにあわないときは近くの大学からたくさんの本を一時借用してトラックで運び、いざ認可がおりるとまたもとどおり返しをするそうである

考えてみればインチキでこつけいな話であるが、それほど図書館の比重ということでは大学にとつては大へんな役割をもつもので今さらくどくどその重要性をのべたてるまでもあるまい。

ところでアメリカの学問研究の過程と日本のソレでは、いささかちがひがあるのはおもしろいことで、アメリカでは、学問の研究にさきだつて先づ図書のしゅうしゅうからはじまつて次にそれを分類し最後に結論にいたる過程をふむのだが、日本の場合かならずしもそうではなく四六時中暗記を前提としておこなわれることが少くない。

そのため日本の社会で彼は優秀だとほめられることは暗記力のよさをイミすることになりかねない。

去る三月、卒業式の懇談会するとき英文科の某卒業生の父兄がやをら立ちあがつて、「息子はもう大学卒業というのに今でもいちいち英語の辞典をひきますが…」と告白したが此の父兄にしてみればもう一人前だから辞典の世話など必要ないと考えたのであろう。

ゆきつくことのない学問のみちの深さをしらない人の発言は、こうしてわれわれを苦笑させる。

一旦、テーマを設定していざ研究や調査や資料をあつめるとき吾々は足しげく図書館にかよわねばならないが、それが関係資料として役たつかぎり、たとえ他人が鼻をかんですてた一片の紙片であつても、それを拾いあげる執念がなければうそである。

(英語英文学科 教授)

1968学年度後期指定図書の設定状況

法文学部

学科	教官数	指定教官数	継続	新規	解除
国文	8(2)	1	94	0	0
英文	36(18)	1	5	0	22
歴史	8(2)	3	74	14	8
地理	6(2)				
法政	13(4)	1	4	32	38
社会	6(1)	2	21	0	9
経済	7(0)				
商学	9(4)				
美術	8(3)	1	30	0	17
小計	101(36)	9	228	46	94

注：()内は非常勤講師の数

$$\frac{\text{指定教官数}}{\text{教官数}} \times 100 = \frac{9}{101} \times 100 = 9\%$$

教育学部

学科	教官数	指定教官数	継続	新規	解除
教育	12(3)	4	66	4	60
心理	8(0)	3	89	3	65
初教	8(0)	1	52	0	0
体育	14(6)				
音楽	7(3)				
技教	8(2)				
小計	57(14)	8	207	7	125

注：()内は非常勤講師の数

$$\frac{\text{指定教官数}}{\text{教官数}} \times 100 = \frac{8}{57} \times 100 = 14\%$$

農学部

学科	教官数	指定教官数	継続	新規	解除
農学	17(6)	1	0	1	12
農工	8(2)	2	24	1	3
農化	9(2)	2	43	3	3
畜産	8(2)	2	84	7	29
林学	11(3)	2	0	5	0
家政	16(5)	4	14	7	18
小計	69(20)	13	265	24	65

$$\frac{\text{指定教官数}}{\text{教官数}} \times 100 = \frac{13}{69} \times 100 = 19\%$$

理工学部

学科	教官数	指定教官数	継続	新規	解除
数学	6(0)				
物理	9(0)				
化学	8(0)	1	19	0	0
生物	10(1)	1	19	8	3
土木	8(2)	3	190	4	11
機械	9(1)	1	11	2	0
電気	10(2)	1	0	1	0
小計	60(6)	7	239	15	14

注：()内は非常勤講師の数

$$\frac{\text{指定教官数}}{\text{教官数}} \times 100 = \frac{7}{60} \times 100 = 12\%$$

学部	教官数	指定教官数	継続	新規	解除
教養	12	2	41	0	0

$$\frac{\text{指定教官数}}{\text{教官数}} \times 100 = \frac{2}{12} \times 100 = 17\%$$

0. 閲覧係 豊平

分類別図書利用状況

1968年4月～7月

分類別	a	b	c	d	e	f	eに対するcの比
	和書	洋書	合計	比率	蔵書数	比率	
総記	268	2	270	1.1	7,815	5.4	3.4
哲学	1,530	10	1,540	6.4	7,122	4.9	21.6
歴史	1,627	24	1,651	6.9	14,626	10.1	11.3
社会科学	5,982	35	6,017	25.0	35,283	24.4	17.0
自然科学	5,255	98	5,353	22.2	22,158	15.2	24.1
工学	2,652	57	2,709	11.3	17,527	12.1	15.4
産業	1,466	37	1,503	6.2	11,979	8.3	12.5
芸術	1,013	5	1,018	4.2	5,351	3.7	19.0
語学	613	37	650	2.7	5,011	3.5	12.9
文学	3,240	129	3,369	14.0	17,999	12.4	18.7
合計	23,646	434	24,080	100.0	144,871	100.0	16.6

学部別利用状況

学部	貸出冊数	全貸出冊数に対する比率	在席数	全在席数に対する比率	学生一人当たり貸出冊数
法文	8,201	34.1	1,316	33.3	6.2
教育	6,102	25.3	988	25.0	6.2
理工	4,908	20.4	606	15.3	8.1
農	4,486	18.6	652	16.5	6.9
短大	383	1.6	391	9.9	1.0
合計	24,080	100.0	3,953	100.0	6.0

1968学 年度第一学期は4月3日に始まり、7月27日に終わっている
講義日数は95日で、学生の入館者数163,052人に対して貸出人員は
20,191人、入館者に対する貸出者は12.3%となつている。1日平均入
館者は1,716人で、1日平均貸出数は25.3冊となつている。

総体的にみて、和洋別の貸出状況は和書23,646冊、洋書434冊となつて
おり、貸出の9.8%は和書である。

上の二つの表は学生貸出をまとめたものであるが、分類別利用状況を比
率でみると、社会科学に関する図書が25%で全体の4分の1を占め、
ついで自然科学22.2%文学14%工学11.3%と続いている。蔵書数
の比率と比べてみると、概ね蔵書数と利用冊数とは比例していることが
わかる。唯、最後の項目、蔵書数に対する貸出冊数の比をみると、自
然科学書が24.1%で利用度が高いことを示している。 関賢係 平

——— 図書館事情 ———

◎ 日本政府援助図書発注

1969年度日本政府援助図書費2万ドル分の図書の最終発注を1968年11月2日完了した。入荷は12月下旬の予定である。

◎ 文部省主催の職員研修

受入管理係長・宮島恵暁は、文部省主催大学図書館職員講習会(10月2日～5日、於東京大学図書館)に参加、その後各地の大学図書館(東京、大阪、京都、神戸、九州、鹿児島大学など)の管理運営状況を視察して1968年10月27日帰任した。

◎ 波照間島郷土資料調査

参考司書・新城安善は、10月9日から18日までの10日間、波照間島に保存される資料の状況を調査し、沖縄県令達書(明治13年以降)の外4点の資料が部落会で保管されていることを確認した。

◎ 図書の購入希望調査

図書館でこの図書は是非備付けてほしいというものがありましたら、三階カウンターの向いの掲示板の所、五階のカードケースの上の所に図書購入希望調査簿がおいてありますから自由に記入してください。著者名、書名、出版社名、価格は必ず明記すること。もしわからない点があれば図書館職員が協力します。

◎ びぶりお 巻号訂正

編集上の手落ちがあり、次のように訂正しておきます。

誤	正
Vol 1 № 1	Vol 1 № 1 (通号1号)
Vol 2 № 2	Vol 1 № 2 (通号2号)
Vol 1 № 3	Vol 2 № 1 (通号3号)
Vol 1 № 4	Vol 2 № 2 (通号4号)
Vol 1 № 5	Vol 2 № 3 (通号5号)

琉球大学附属図書館 びぶりお VOL 2 № 5(通号 № 7) 1968年11月15日発行
編集発行人 平良恵仁 琉球大学附属図書館発行
沖縄那覇市当蔵町3丁目1番地 電代表 (4)-0101内線240